

公益財団法人京都伝統産業交流センター

第1 法人の概要

1 代表者

理事長 渡邊隆夫

2 所在地

京都市左京区岡崎成勝寺町9番地の1 京都市勸業館内

3 電話番号

075-762-2670

4 ホームページアドレス

<http://kmtc.jp> (京都伝統産業ふれあい館)

5 設立年月日

昭和52年3月29日

6 基本財産

11,000千円 (うち本市出せん額 5,000千円, 出せん率 45.5%)

7 事業目的

伝統産業の啓発及び振興に関する事業を行い、地域経済の発展と生活文化の向上に寄与すること。

8 業務内容

- (1) 京都市勸業館常設展示場の展示事業
- (2) 伝統産業に関する振興及び啓発事業
- (3) 伝統産業製品の提供事業

9 所管部局

産業観光局商工部伝統産業課 (TEL075-222-3337)

10 役員名等

(1) 理事長

渡邊隆夫

(2) 副理事長

田中雅一

(3) 専務理事

早水督

(4) 理事

木村泰士, 森俊次, 佐藤敬二, 藤澤栄治, 雁瀬博, 辻智之, 林史己, 小嶋俊, 細辻伊兵衛, 草木大 (産業観光局商工部長)

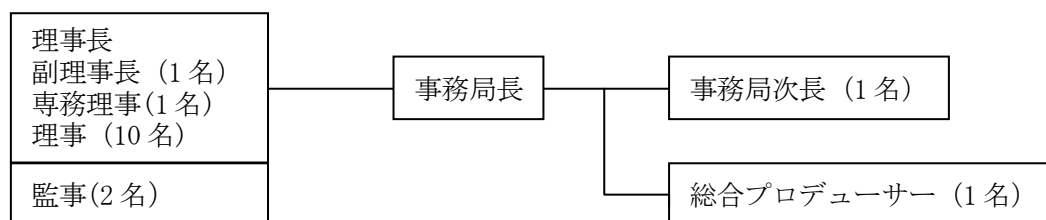
(5) 監事

大西英生, 藤井正昭

11 常勤職員数

6人 (うち本市派遣職員2人)

12 組織機構



第2 経営状況

1 平成29年度決算

(1) 事業報告

ア 京都市勧業館常設展示場の展示事業

京都市内の伝統産業について体系的に紹介する施設として設置された「京都伝統産業ふれあい館」（以下「ふれあい館」という。）の管理運営を行った。【年間来館者数：179,098人】

(ア) 常設展示

a 団体での見学者を対象とした解説【団体数：96団体，対象者数3,303人】

b 展示品入替え【展示替回数：123回，入替品数：800点】

c 展示場内放映用映像の制作

現在展示場内で放映中の映像で取り上げられていない品目のうち京真田紐と和蠟燭について，立命館大学映像学部と共同で映像を制作した。

(イ) イベントルーム

関係団体との共催事業及び常設展示との相乗効果が期待できる展示会等を実施した。

【実施事業数：36事業】

(ウ) ギャラリー

当財団単独主催又は関連業界団体等との共催により企画展を開催した。

【実施事業数：7事業】

(エ) 図書室の運営【貸出書籍数：282冊】

(オ) 特別展の開催

開催期間	催事名
11/17～12/18	歌舞伎のモノコト展
2/20～3/31	工芸のなかのいきものたち

(カ) 特別イベントの開催

「京まふ2017」等ふれあい館周辺で開催された大規模イベントとの連動企画や企業等との共同企画を実施した。

イ 伝統産業に関する振興及び啓発事業

(ア) 伝統工芸品制作体験教室【体験者数：3,281人，体験料収入：3,955,450円】

(イ) 「匠と舞」事業

a 匠ふれあい事業

(a) 常設展示場内における職人実演【実演職人延べ人数：641人】

(b) 各種イベント等への職人派遣【イベント数：24，派遣職人延べ人数：75人】

b 芸舞妓舞台【舞妓舞台：15回開催，芸妓舞台：14回開催】

(ウ) 工房訪問事業

京都を訪れる方により深く伝統産業の魅力を知ってもらい，伝統産業製品の購入につながる取組として，工房訪問を希望する方と工房とを当財団がマッチングする仕組みを「京都工房コンシェルジュ」として構築し，平成28年度から本格実施している。

【利用人数：835人，利用件数269件】

(エ) ふれあい館サロン

職人と他業種の方との交流会を約2か月に1回開催した。

【開催回数：6回，参加職人延べ人数：47人】

(オ) 京ものユースコンペティション事業

若手職人の研鑽と露出の機会の創出を目的として実施した。

応募期間	平成29年7月7日（金）～12月15日（金）
応募者数	12名
受賞者	グランプリ1名，準グランプリ2名

- (カ) 宿泊・商業施設等との共同企画の実施
- (キ) 伝統産業に関する講演会の実施

ウ 伝統産業製品の提供事業

現代の人にとって敷居が高くなりがちな伝統産業製品を身近に感じてもらえるようにオンラインショップ「京もの専門店みやび」を運営するほか、京都迎賓館や二条城のオリジナルグッズ、会議やイベントで出席者に配られる記念品として伝統産業製品の販売に取り組んだ。

【売上実績】 (単位：円)

オンラインショップ等	7,690,507
実店舗出展	921,538
常設展示・実演販売	3,929,402
記念品（特別注文）等	28,143,831
合計	40,685,278

エ 広報活動

- (ア) SNS 及び口コミサイトの活用
- (イ) 観光業界への情報提供
- (ウ) 他施設及び他団体との連携

(2) 財務諸表

貸借対照表

平成30年3月31日現在

(単位:千円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	25,148	28,152	△3,003
未収金	11,180	3,665	7,515
前払金	0	2	△2
立替金	42	15	26
前払費用	474	460	14
流動資産合計	[36,843]	[32,293]	[4,551]
2. 固定資産			
(基本財産)			
定期預金	11,000	11,000	0
基本財産合計	(11,000)	(11,000)	(0)
(特定資産)			
退職給付引当資産	2,045	1,085	960
賞与積立資産	643	1,032	△389
特定資産合計	(2,688)	(2,117)	(571)
(その他固定資産)			
出資金	5,000	5,000	0
什器備品	914	1,094	△180
電話加入権	80	80	0
ソフトウェア	203	255	△52
図書	8	8	0
その他固定資産合計	(6,204)	(6,436)	(△232)
固定資産合計	[19,892]	[19,553]	[340]
資産合計	56,736	51,846	4,890
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	2,874	9,300	△6,426
賞与引当金	643	1,032	△389
預り金	7,209	4,540	2,669
仮受金	789	1,202	△413
未払法人税等	701	70	631
未払消費税等	2,023	1,590	433
流動負債合計	[14,240]	[17,734]	[△3,494]
2. 固定負債			
退職給付引当金	2,045	1,085	960
固定負債合計	[2,045]	[1,085]	[960]
負債合計	16,285	18,819	△2,534
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
京都市出えん金	5,000	5,000	0
指定正味財産合計	[5,000]	[5,000]	[0]
(うち基本財産への充当額)	(5,000)	(5,000)	(0)
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	[35,451]	[28,027]	[7,424]
(うち基本財産への充当額)	(6,000)	(6,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(2,045)	(1,085)	(960)
正味財産合計	40,451	33,027	7,424
負債及び正味財産合計	56,736	51,846	4,890

正味財産増減計算書

平成29年4月1日～平成30年3月31日

(単位:千円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	101	6	96
特定資産運用益	0	0	0
事業収益	15,878	16,304	△426
受取補助金等	54,432	61,586	△7,154
雑収益	778	825	△46
経常収益計	71,189	78,720	△7,531
(2) 経常費用			
事業費	55,567	65,670	△10,104
管理費	7,498	7,470	28
経常費用計	63,064	73,140	△10,076
当期経常増減額	8,125	5,580	2,545
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前一般正味財産増減額	8,125	5,580	2,545
法人税, 住民税及び事業税	701	0	701
当期一般正味財産増減額	7,424	5,580	1,843
一般正味財産期首残高	28,027	22,446	5,580
一般正味財産期末残高	35,451	28,027	7,424
II. 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	5,000	5,000	0
指定正味財産期末残高	5,000	5,000	0
III. 正味財産期末残高	40,451	33,027	7,424

2 平成30年度事業計画

(1) 事業計画の概要

ア 京都市勧業館常設展示場（京都伝統産業ふれあい館）の展示事業

- (ア) 常設展示の管理運営
- (イ) イベントルームの活用
- (ウ) ギャラリー展の開催
- (エ) 併設図書室の運営
- (オ) 特別展の開催
- (カ) 特別イベントの開催
- (キ) ふれあい館リニューアルに係る設計

イ 伝統産業に関する振興及び啓発事業

- (ア) 伝統工芸品制作体験教室の開催
- (イ) 「匠と舞」事業
 - a 匠ふれあい事業
 - (a) 常設展示場内における職人実演
 - (b) 各種イベント等への職人派遣
 - b 芸舞妓舞台の開催
- (ウ) 工房訪問事業「京都工房コンシェルジュ」の運営
- (エ) ふれあい館サロンの開催
- (オ) 京ものユースコンペティション事業
- (カ) 宿泊・商業施設等との共同企画の実施
- (キ) 伝統産業に関する講演会の実施

ウ 伝統産業製品の提供事業

オンラインショップ「京もの専門店みやび」を運営するほか、観光施設のオリジナルグッズ、会議やイベントで出席者に配られる記念品として伝統産業製品の販売に取り組む。

エ 広報活動

- (ア) SNS及びロコミサイトの活用
- (イ) 首都圏・海外への情報発信
- (ウ) 観光業界への情報提供

(2) 予算

正味財産増減予算書
平成30年4月1日～平成31年3月31日

(単位:千円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	2	5	△3
特定資産運用益	1	0	1
事業収益	10,209	8,500	1,709
受取補助金等	56,173	53,492	2,681
雑収益	127	431	△304
経常収益計	66,512	62,428	4,084
(2) 経常費用			
事業費	58,253	50,204	8,049
管理費	8,259	12,224	△3,965
経常費用計	66,512	62,428	4,084
当期経常増減額	0	0	0
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	28,027	26,946	1,080
一般正味財産期末残高	28,027	26,946	1,080
II. 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	5,000	5,000	0
指定正味財産期末残高	5,000	5,000	0
III. 正味財産期末残高	33,027	31,946	1,080

(参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H27 (決算)	H28 (決算)	H29 (決算)	H30 (予算)
正味財産増減計算書	経常収益	69,110	78,720	71,189	66,512
	当期経常増減額	12,491	5,580	8,125	0
	当期正味財産増減額	12,491	5,580	7,424	0
貸借対照表	総資産	36,400	51,846	56,736	
	総負債	8,953	18,819	16,285	
	正味財産	27,446	33,027	40,451	

(参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H27 (決算)	H28 (決算)	H29 (決算)	H30 (予算)
委託料	京都伝統産業ふれあい館運営	27,000	25,000	24,000	
	京の「匠」ふれあい事業	4,000	3,950	3,500	
	隗より始めるプロジェクト	200			
	オンラインショップの運営を通じた就職支援事業	3,950			
	世界最大の手づくり魔鏡展示事業	100			
	琳派展事業	2,500			
	外国人観光客に対する伝統産業の魅力向上事業	4,075			
	ふれあい館活性化事業	10,000			
	二条通からの視認性向上のアーチ製作	1,269			
	京都伝統産業ふれあい館を核とした新たな伝統産業振興事業		22,600	20,000	
	「京ものユースコンペティション」に係る企画・運營業務		2,600	1,000	
	ふれあい館魅力向上策検討プロジェクト		2,000		
	補助金	京都市伝統産業振興事業補助金	4,724	5,436	5,932

第3 経営評価結果

1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	<ul style="list-style-type: none">財務面での健全化・安定化を図っていくことが今後も必要である。
事業面	<ul style="list-style-type: none">当該財団が運営している「京都伝統産業ふれあい館」は京都の伝統産業 74 品目を体系的に理解できる普及・啓発施設として大きな役割を果たしてきたが、伝統産業製品の長期的な需要の低迷が続く中、同館には、普及・開発にとどまらず、需要の拡大と販売促進を支援する役割を果たすことが求められている。また、工房訪問事業や企画展を充実させたことによって、平成 29 年度にはトリップアドバイザーが選ぶ「国内無料観光スポットランキング 2017」において第 5 位に選出されるなど、一定の評価を得ている。

2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

財務面	<ul style="list-style-type: none">3 期連続の当期正味財産増減額の黒字を達成している。オンラインショップ等の売上も堅調に推移しており、販売促進の取組の成果が出ている。
事業面	<ul style="list-style-type: none">観光事業者等との連携や各種展示会・イベント等の開催に積極的に取り組んでおり、伝統産業の普及・啓発に貢献している。